



Possible starts here

2025年度本決算説明(総括)

2026年2月10日

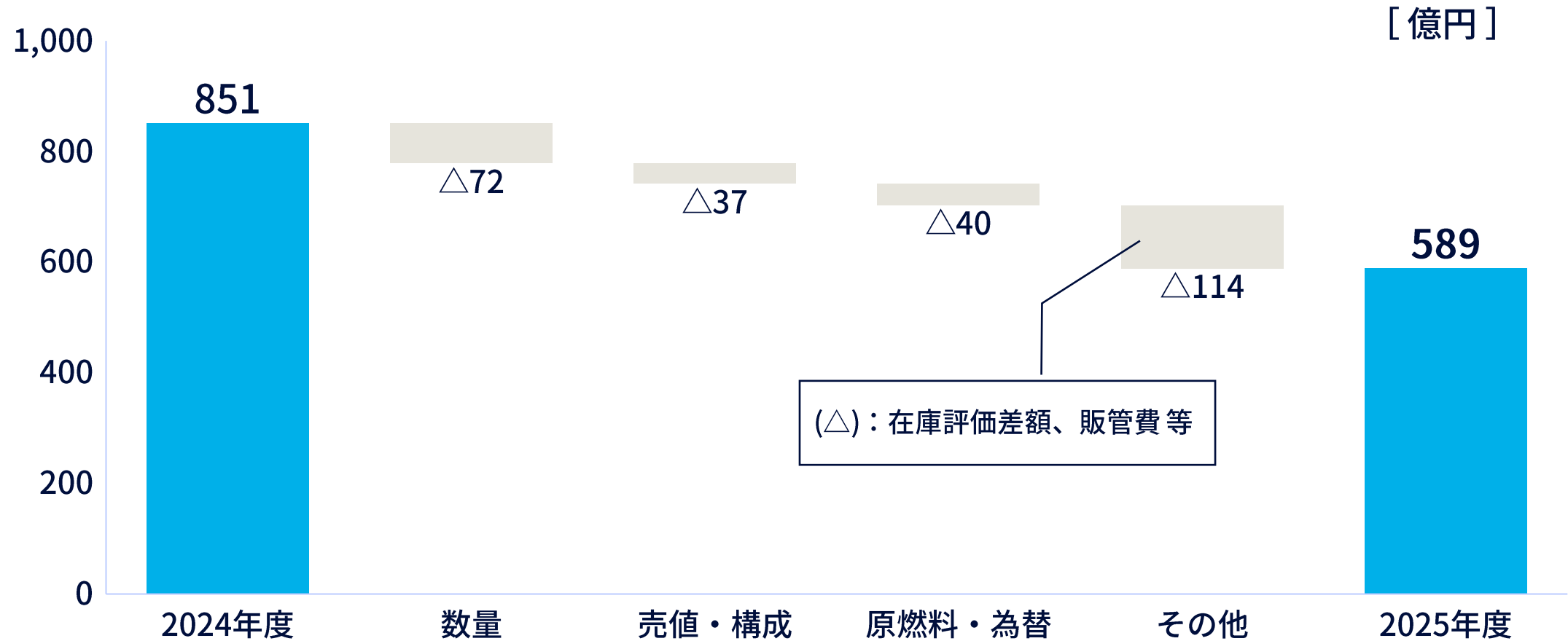
株式会社クラレ

※P6、P17 設備投資（受入額）を訂正しております。訂正箇所は下線で表示しております。

- 在庫評価差額のマイナス影響、販売数量の減少などを受け営業利益は減少
イソプレンセグメントにおける減損損失の計上で当期純利益は減少 [億円]

	2025年度	2024年度	増減	2025年度予想 (2025年11月12日)	増減
売上高	8,084	8,269	△184	8,100	△16
営業利益	589	851	△262	600	△11
経常利益	515	815	△300	530	△15
親会社株主に 帰属する当期純利益	75	317	△243	230	△155
<参考>					
円／ドル（平均）	150	152		149	
円／ユーロ（平均）	169	164		168	
国産ナフサ 千円／kl	68	75		68	
米国天然ガス ドル／MMBtu	3.6	2.4		3.5	
欧州天然ガス ユーロ／MWh	37	34		39	

2025年度 営業利益増減分析



	2024年度	2025年度		2024年度	2025年度
円／ドル (平均)	152	150	国産ナフサ 千円／kl	75	68
円／ユーロ (平均)	164	169	米国天然ガス ドル／MMBtu	2.4	3.6
			欧州天然ガス ユーロ／MWh	34	37

25年度

【完了】

- メタクリル事業の生産能力最適化
- ノンコア事業の譲渡（㈱岡山臨港、宝塚中山台ニュータウン）

【決定】

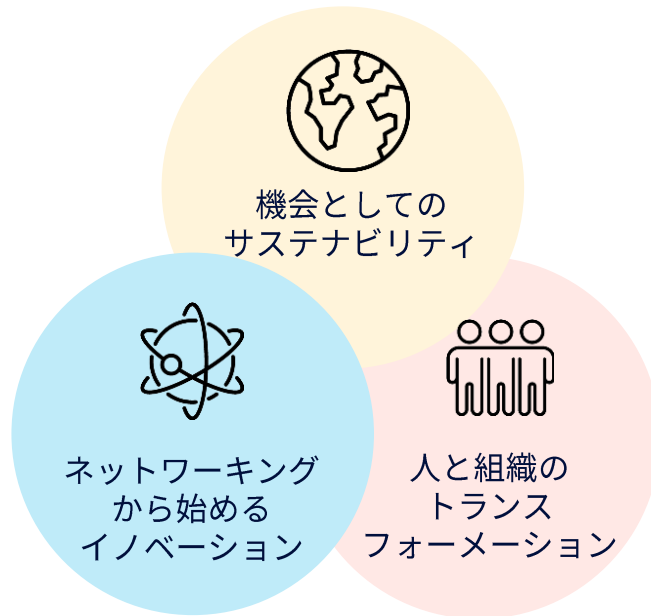
- 光学用ポバールフィルム生産設備の能力増強
- ポリエステル事業の再構築
- 〈クラリティ〉及び〈ベクスター FCCL〉の生産終了
- 中国メタクリル樹脂シート生産子会社及びスタンプ事業の譲渡



26年度

- 〈エバール〉シンガポール新プラント建設工事の遂行
- ジェネスタ事業及び歯科材料事業の更なる拡大
- 欧米における再生活性炭の生産能力増強に向けた意思決定
- コア事業への重点的な資源配分とノンコア事業の縮小及び撤退

—3つの挑戦—



- 2035年までのGHG排出量削減目標の新たな設定
- 米国でのバーチャルPPA^{※1}締結
- SBT^{※2}認定取得・ポスト「PASSION 2026」に向けた取り組み
(GHG排出削減に資する技術開発課題の設定、クラレPSA^{※3}システムとICP^{※4}を組み合わせた新しい価値指標の構築)

- ネルンボ社の買収
- 再生医療の産業化・社会実装に向けたパートナー企業との共創

- グローバルな組織体制・業務プロセス変革の推進
- 事業成長に資するグローバル人事機能の構築
- デジタルの活用や他社との協業を通じた新規ビジネスモデルへの挑戦

※1 バーチャルPPA（バーチャル電力購入契約）：再生可能エネルギー発電事業者から電力供給を受けることなく環境価値（再エネ証書）を購入する契約形態。再エネ証書とは、再生可能エネルギー由来の電力の環境価値や属性情報を電力の流れと切り離して取引するために証書化されたもの。

※2 SBT (Science Based Targets)：パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定した温室効果ガス排出削減目標

※3 PSA (Portfolio Sustainability Assessment)：WBCSD（持続可能な開発のための世界経済人会議）が定めた製品ポートフォリオ評価指標

※4 ICP (Internal Carbon Pricing)：社内で炭素価格を設定し、CO2排出量を費用換算することにより、排出量削減、省エネルギー推進に対する経済的インセンティブを創出し、低炭素投資の推進、気候変動への対応を促す仕組み

2026年度 業績予想

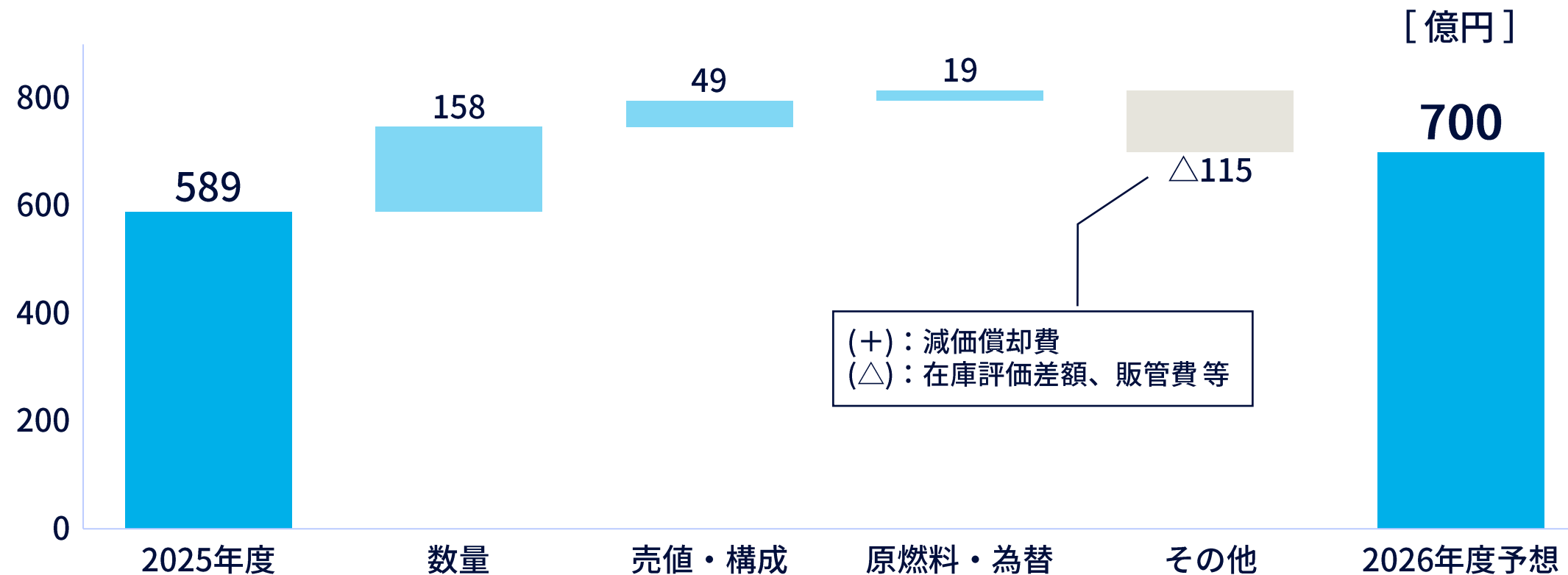
kuraray

	2026年度予想	2025年度	増減	2026年度見通し (2025年2月12日)	増減	[億円]
売上高	8,500	8,084	416	9,000	△500	
営業利益	700	589	111	1,100	△400	
経常利益	640	515	125			
親会社株主に 帰属する当期純利益	400	75	325	660	△260	
設備投資(決定ベース)	750	1,010	△260			
設備投資(受入ベース)	1,190	<u>1,068</u>	<u>122</u>			
減価償却費(のれん償却費込)	850	847	3			
研究開発費	270	284	△14			
		参考				
円／ドル (平均)	150	150		155		
円／ユーロ (平均)	175	169		160		
国産ナフサ 千円／kl	61	68		75		
米国天然ガス※ ドル／MMBtu	3.8	3.6				
欧州天然ガス※ ユーロ／MWh	37	37				

※ 米国及び欧州天然ガスの前提は、25年度第2四半期決算から公表

2026年度 通期営業利益増減分析（前年実績との比較）

kuraray

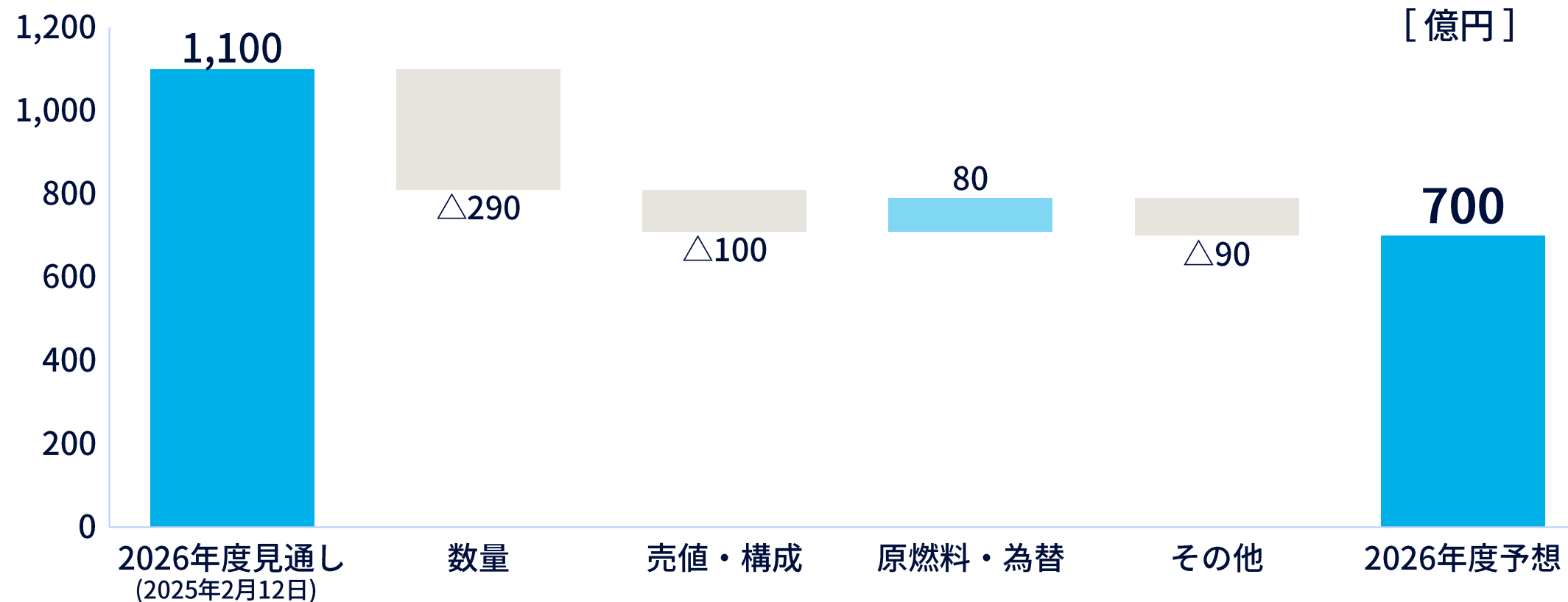


	2025年度	2026年度予想
円／ドル（平均）	150	150
円／ユーロ（平均）	169	175

	2025年度	2026年度予想
国産ナフサ 千円／kl	68	61
米国天然ガス ドル／MMBtu	3.6	3.8
欧州天然ガス ユーロ／MWh	37	37

2026年度 通期営業利益増減分析（前回見通しとの比較）

kuraray



	2026年度見通し (25年2月)	2026年度予想		2026年度見通し (25年2月)	2026年度予想
円／ドル (平均)	155	150	国産ナフサ 千円／kl	75	61
円／ユーロ (平均)	160	175	米国天然ガス※ドル／MMBtu		3.8
			欧州天然ガス※ユーロ／MWh		37

※米国及び欧州天然ガスの前提は、25年度第2四半期決算から公表

財務
KPI



ROIC

EBITDA※

ROE

EBITDAマージン(参考)

2024年度

7.3%

1,703億円

4.3%

20.6%

2025年度

5.1%

1,436億円

1.0%

17.8%

2026年度予想

6%

1,550億円

5%

18%

2026年度見通し
(2025年2月12日)

9%

1,860億円

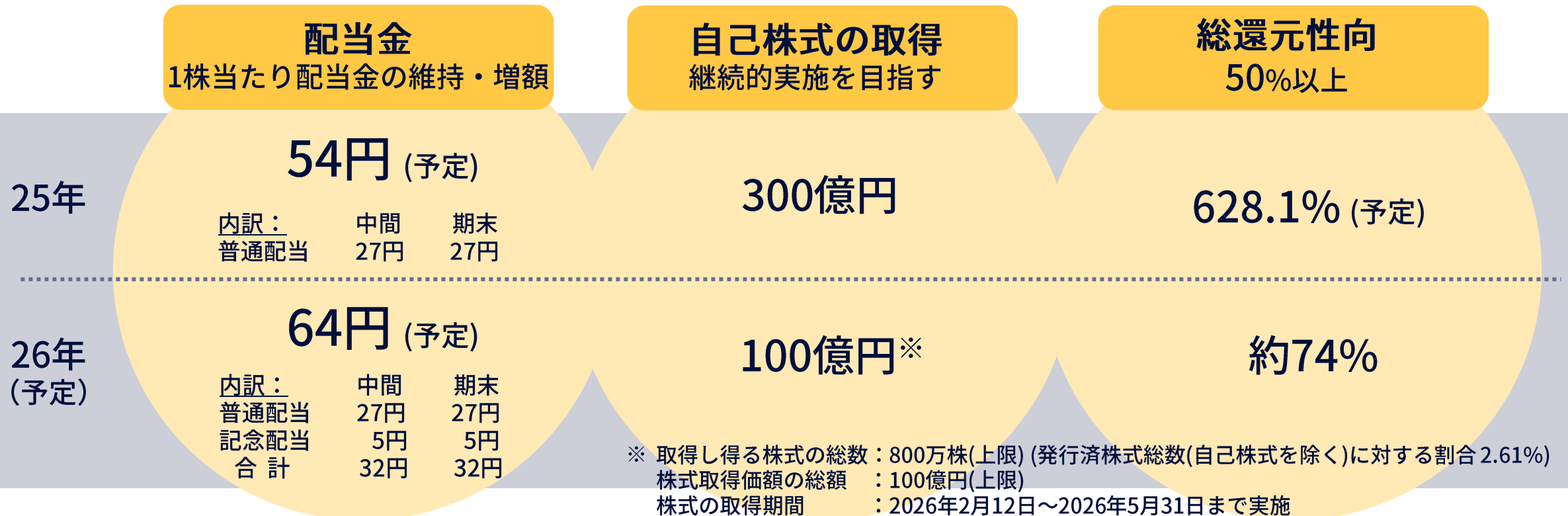
9%

21%

※営業利益+減価償却費

株主還元

- 創立100周年を記念し、年間10円の記念配当を実施予定
- 100億円の自己株式取得を決定





Possible starts here

2025年度本決算説明(詳細)

2026年2月10日

株式会社クラレ

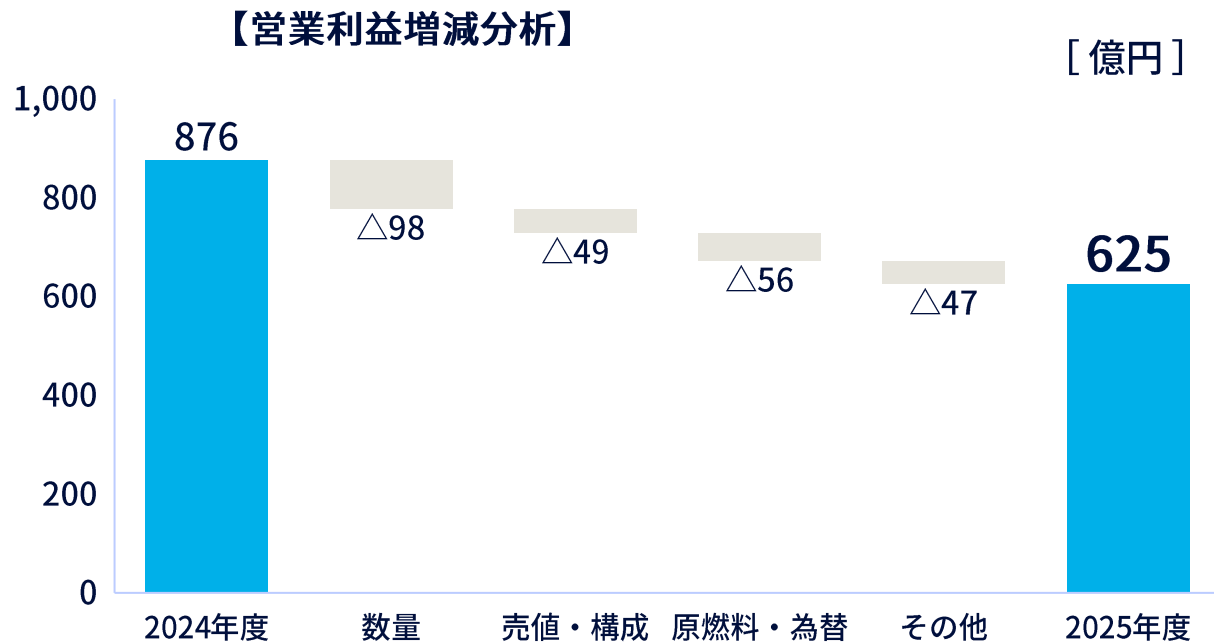
セグメント別 売上高・営業利益

kuraray

[億円]

	2025年度		2024年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルセテート	4,045	625	4,149	876	△104	△251
イソプレン	804	△49	764	△95	40	46
機能材料	2,069	108	2,080	129	△10	△21
繊維	607	26	627	12	△19	14
トレーディング	688	60	676	59	11	1
その他	408	18	509	23	△101	△5
調整額	△537	△201	△535	△154	△2	△47
合計	8,084	589	8,269	851	△184	△262

	2024年度	2025年度	増減
売上高	4,149	4,045	△104
営業利益	876	625	△251

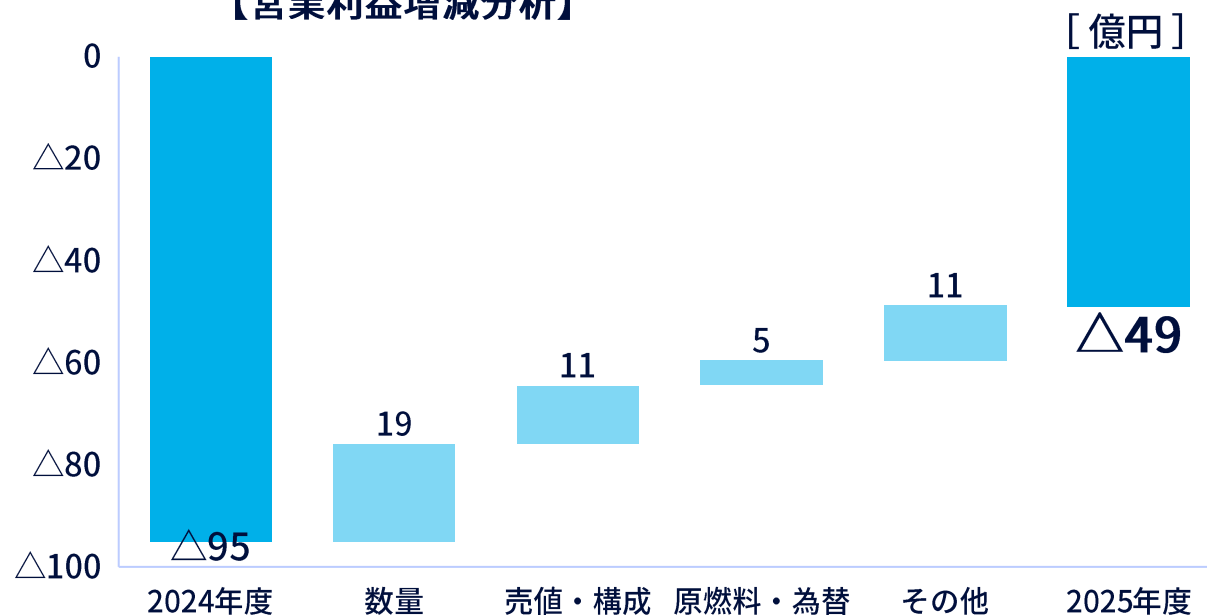


ポバール樹脂	販売数量は前年の欧州向け物流の混乱に起因した特需が一巡し、欧米中心に需要が低調となり減少。利益面では原燃料価格上昇によりマイナス影響。
光学用ポバールフィルム	販売数量は中国の家電買替支援策や国際的なスポーツイベントに向けたテレビの買い替え需要に支えられ増加。利益面では在庫評価差額によりマイナス影響。
高機能中間膜	〈セントリグラス〉は米州を中心に販売が順調に推移したが、PVBフィルムは欧州・アジアを中心に競争環境の厳しさが増し、建築及び自動車用途ともに販売数量が減少。
水溶性ポバールフィルム	個包装洗剤の需要増加により販売数量は増加。
〈エバール〉	食品包装用途は、欧州・アジアで想定したほど販売数量が増えず。自動車用途は堅調に推移し、全体で販売数量は増加。利益面では在庫評価差額や原燃料価格の上昇によりマイナス影響。
主な増減要因	欧州経済の停滞等により販売数量は伸びず、また利益面では在庫評価差額や原燃料価格上昇によるマイナス影響があり、セグメント全体で減益。

[億円]

	2024年度	2025年度	増減
売上高	764	804	40
営業利益	△95	△49	46

【営業利益増減分析】



イソプレンケミカル
エラストマー

イソプレンケミカルは中国の建築用途需要低迷に加え、上期に米国関税政策の影響で需要が前倒しとなった結果、第3四半期以降はその反動で需要が落ち込み。エラストマーは販売数量が増加も、米国関税政策により欧州市場等においてアジアの競合メーカーとの競争が激化。

〈ジェネスタ〉

電気・電子用途、自動車用途とも拡販が進み、販売数量が増加。

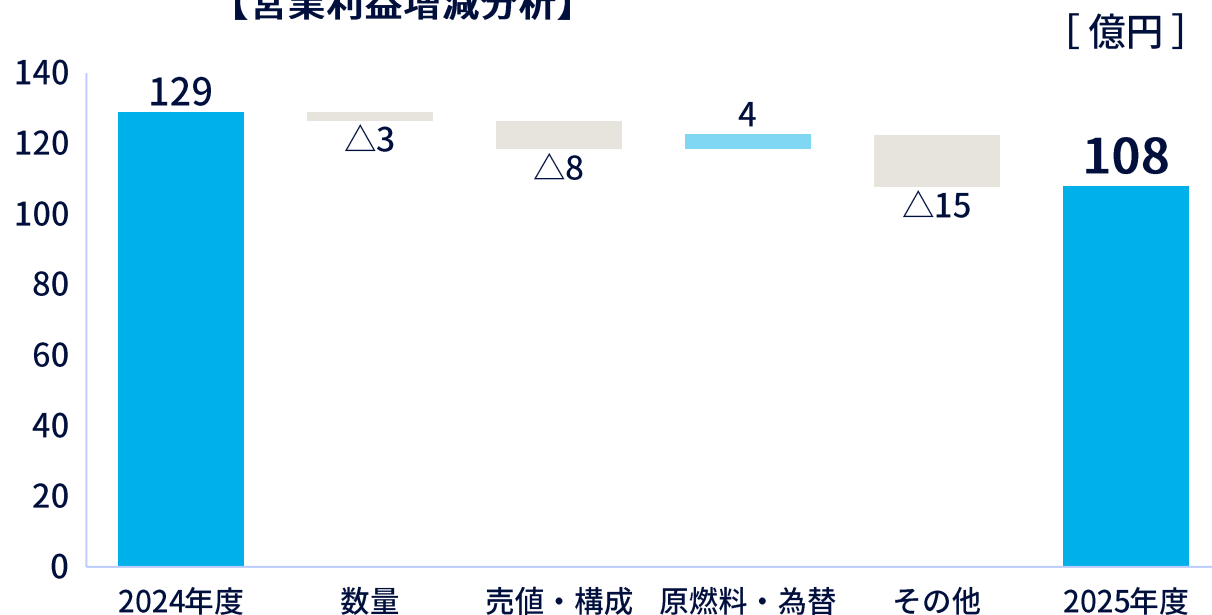
主な増減要因

タイ拠点の稼働が安定し、当該拠点を活用した拡販を進め、セグメント全体で増益。

[億円]

	2024年度	2025年度	増減
売上高	2,080	2,069	△10
営業利益	129	108	△21

【営業利益増減分析】



メタクリル

25年7月からメタクリル酸メチル及び一部の川下製品の生産能力を縮小したことに加えて、一時的な生産トラブルがあり販売数量が減少。

メディカル

審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に引き続き好調に推移しており、今後の拡販に向けてマーケティングを強化。

環境ソリューション

活性炭の販売数量は飲料水用途を中心に増加も、米国関税政策や景気の先行き不透明感から一部顧客において購入時期を見直す動きがみられ、想定数量には届かず。24年12月に珪藻土、パーライト事業を譲渡し減収。利益面では米国寒波や生産トラブルによりマイナス影響。

主な増減要因

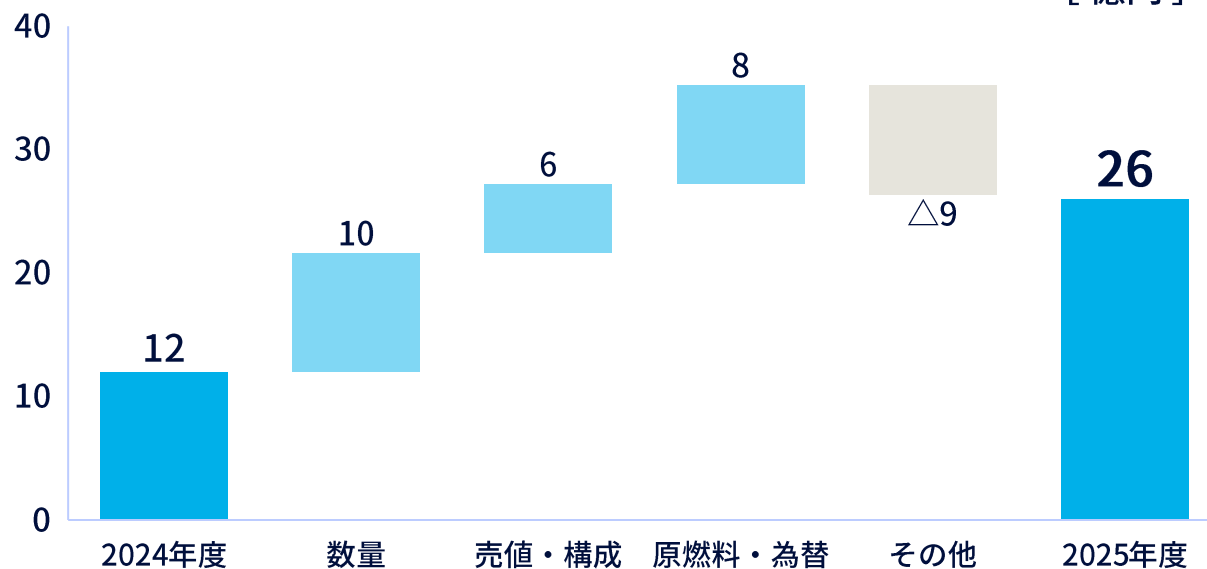
米国寒波に加え生産トラブル等によるマイナス影響で、セグメント全体で減益。

[億円]

	2024年度	2025年度	増減
売上高	627	607	△19
営業利益	12	26	14

【営業利益増減分析】

[億円]



〈クラリーノ〉

靴用途は新規採用の効果により堅調に推移したが、欧州市場での需要低迷や中国経済の成長鈍化、EVの生産調整の影響等により、ラグジュアリー用途及び自動車用途を中心に販売数量が減少。

繊維資材

欧州の建材用途は低調が続いたものの、〈ベクトラン〉の拡販などにより販売構成が改善。

主な増減要因

欧州経済の停滞やEVの生産調整等による影響を受けるも、販売構成の改善等による寄与があり、セグメント全体で増益。

[億円]

	2025年度	2024年度	増減
営業CF	986	1,383	△397
投資CF※	△981	△760	△221
フリーCF※	5	623	△618
設備投資 (受入ベース)	<u>1,068</u>	843	<u>226</u>
減価償却費 (のれん償却費込み)	847	852	△5
研究開発費	284	257	27

※ 投資CF、フリーCF：運用資金、M&A関連を除く

[億円]

	2025年12月末	2024年12月末	増減
流動資産	5,784	5,653	131
固定資産	7,251	7,260	△9
資産合計	13,035	12,912	123

	2025年12月末	2024年12月末
円／ドル（期末）	157	158
円／ユーロ（期末）	184	165

貸借対照表②(負債と純資産の部)

kuraray

[億円]

	2025年12月末	2024年12月末	増減
流動負債	2,282	1,982	300
固定負債	3,201	3,112	89
負債合計	5,483	5,094	389
純資産合計	7,552	7,818	△266
負債・純資産合計	13,035	12,912	123
自己資本比率	57.0%	59.2%	△2.2%

	2025年12月末	2024年12月末
円／ドル（期末）	157	158
円／ユーロ（期末）	184	165

セグメント別 売上高・営業利益比較

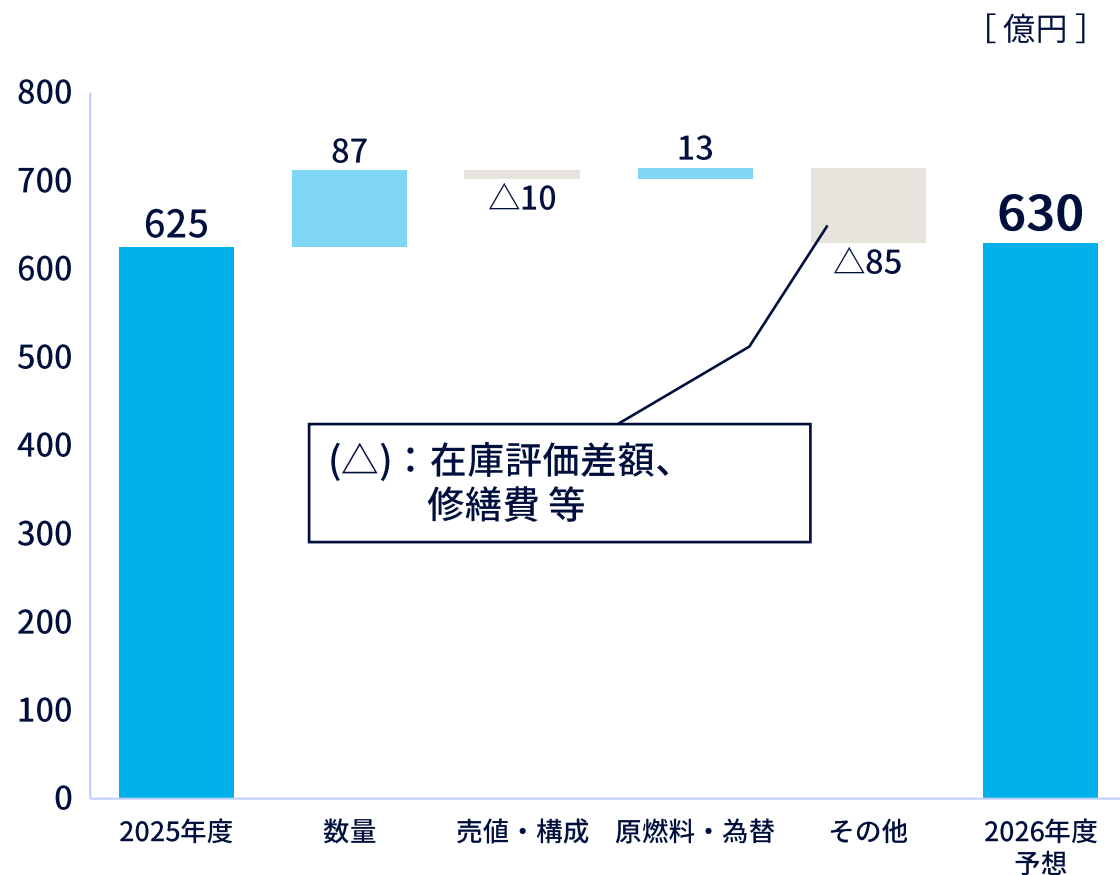
kuraray

[億円]

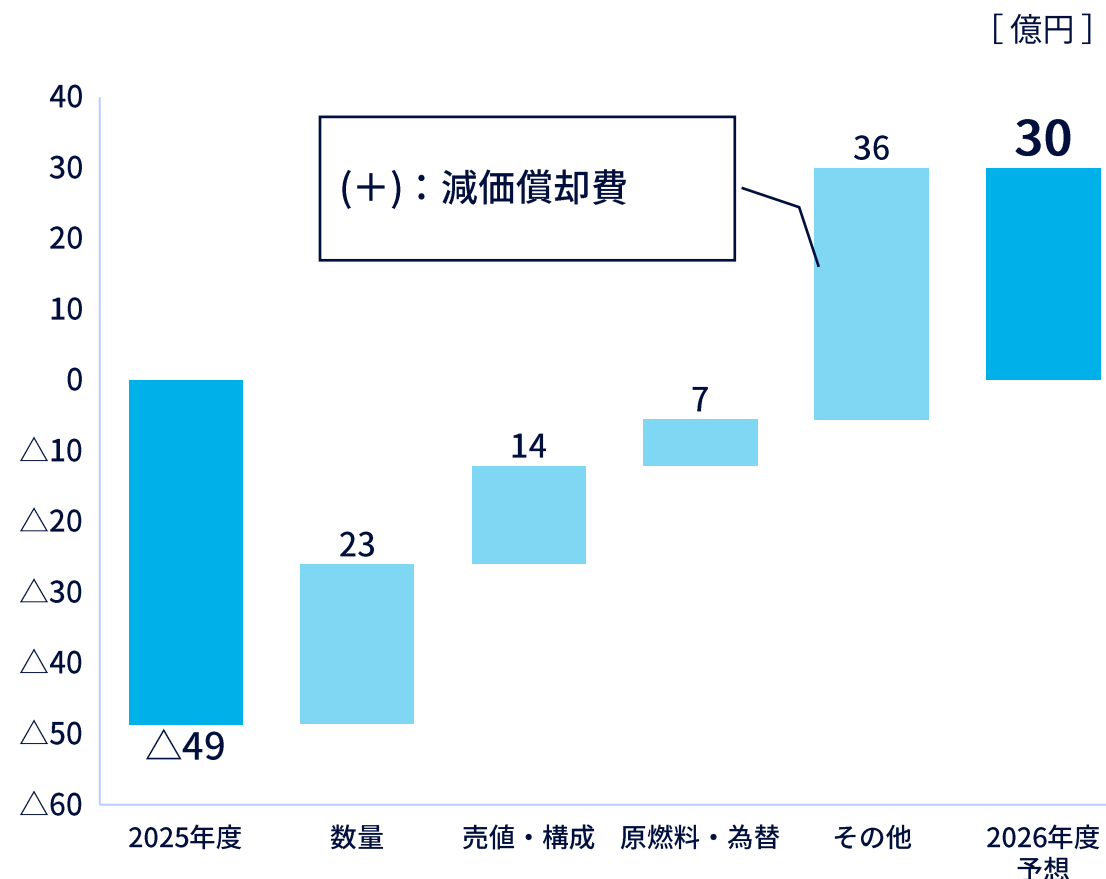
	2026年度予想		2025年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	4,200	630	4,045	625	155	5
イソブレン	930	30	804	△49	126	79
機能材料	2,220	145	2,078	89	142	56
繊維	630	45	607	26	23	19
トレーディング	700	65	688	60	12	5
その他	410	10	399	37	11	△27
調整額	△590	△225	△537	△201	△53	△24
合計	8,500	700	8,084	589	416	111

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

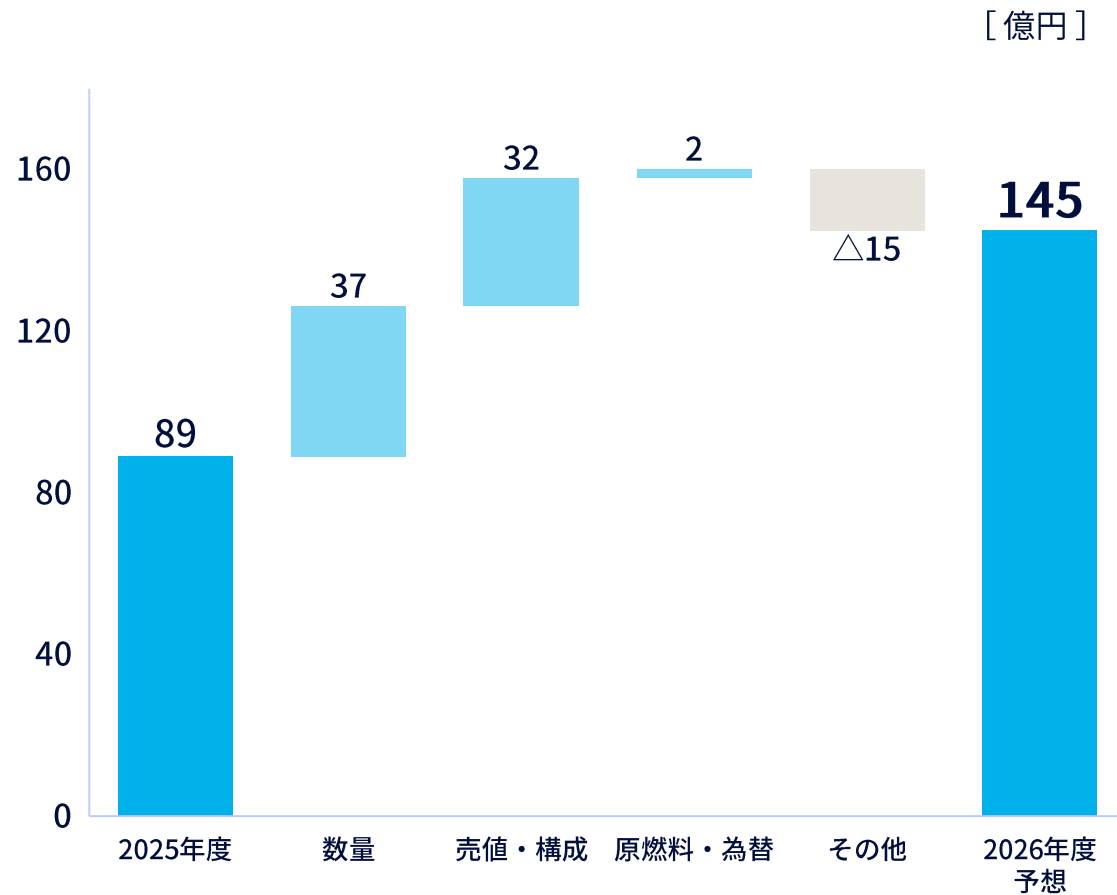
ビニルアセテートセグメント



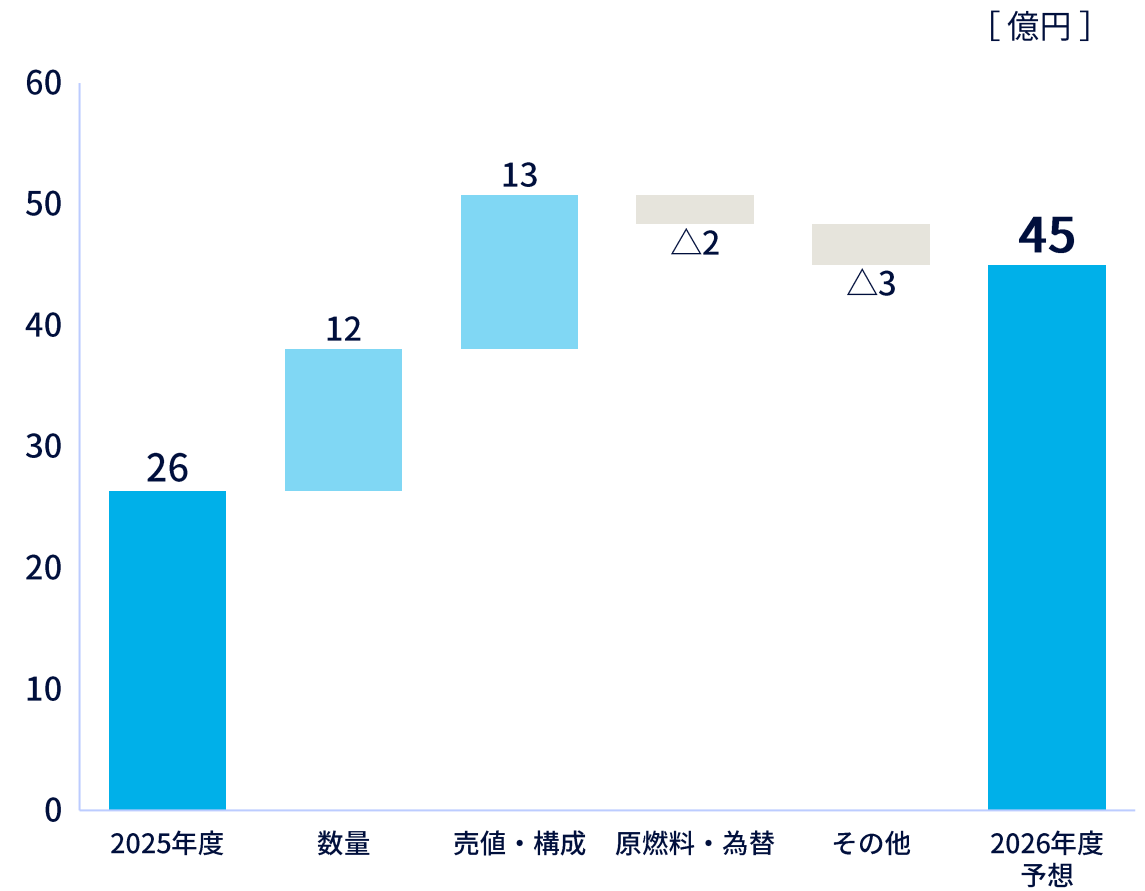
イソプレンセグメント



機能材料セグメント



繊維セグメント



【参考】セグメント別 売上高・営業利益比較（前回見通しとの比較）

kuraray

[億円]

	2026年度予想		2026年度見通し (2025年2月12日)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	4,200	630	4,380	890	△180	△260
イソプレン	930	30	950	0	△20	30
機能材料	2,220	145	2,300	250	△80	△105
繊維	630	45	700	70	△70	△25
トレーディング	700	65	750	70	△50	△5
その他	410	10	395	20	15	△10
調整額	△590	△225	△475	△200	△115	△25
合計	8,500	700	9,000	1,100	△500	△400

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2026年度見通しの数値は当該変更を反映した数値となっています。

[億円]

	2026年度予想			2025年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,100	4,400	8,500	4,000	4,085	8,084	100	315	416
営業利益	240	460	700	263	326	589	△23	134	111
経常利益	210	430	640	213	302	515	△3	128	125
親会社株主に 帰属する当期純利益	130	270	400	140	△66	75	△10	336	325

【参考】セグメント別売上高予想

kuraray

[億円]

	2026年度予想			2025年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	2,050	2,150	4,200	2,029	2,016	4,045	21	134	155
イソブレン	440	490	930	399	404	804	41	86	126
機能材料	1,060	1,160	2,220	986	1,093	2,078	74	67	142
繊維	310	320	630	298	310	607	12	10	23
トレーディング	340	360	700	339	349	688	1	11	12
その他	170	240	410	217	182	399	△47	58	11
調整額	△270	△320	△590	△268	△269	△537	△2	△51	△53
合計	4,100	4,400	8,500	4,000	4,085	8,084	100	315	416

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

【参考】セグメント別 営業利益予想

kuraray

[億円]

	2026年度予想			2025年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	220	410	630	299	327	625	△79	83	5
イソブレン	15	15	30	△13	△36	△49	28	51	79
機能材料	60	85	145	17	72	89	43	13	56
繊維	15	30	45	△1	27	26	16	3	19
トレーディング	30	35	65	30	30	60	0	5	5
その他	0	10	10	19	18	37	△19	△8	△27
調整額	△100	△125	△225	△89	△112	△201	△11	△13	△24
合計	240	460	700	263	326	589	△23	134	111

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

【参考】セグメント別 四半期売上高推移

kuraray

[億円]

	2024年度					2025年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
ビニルアセテート	990	1,098	1,067	994	4,149	1,004	1,025	985	1,031	4,045
イソブレン	172	204	185	203	764	197	203	186	219	804
機能材料	487	540	496	557	2,080	476	505	504	584	2,069
繊維	138	174	150	165	627	134	163	140	170	607
トレーディング	153	169	160	194	676	167	172	151	197	688
その他	117	133	121	138	509	111	110	98	89	408
調整額	△136	△128	△142	△129	△535	△141	△127	△129	△140	△537
合計	1,922	2,190	2,036	2,121	8,269	1,948	2,052	1,935	2,150	8,084

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

kuraray

[億円]

	2024年度					2025年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
ビニルアセテート	248	191	267	170	876	159	140	187	140	625
イソブレン	0	△40	△15	△39	△95	28	△41	△9	△27	△49
機能材料	32	32	28	36	129	20	9	34	45	108
繊維	△2	10	15	△10	12	△6	5	14	13	26
トレーディング	13	14	14	18	59	14	17	12	18	60
その他	4	5	10	4	23	1	6	7	3	18
調整額	△8	△45	△33	△68	△154	△30	△59	△44	△68	△201
合計	288	167	285	112	851	187	76	201	125	589

【参考】セグメント別 売上高・営業利益（前回予想との比較）

kuraray

[億円]

	2025年度		2025年度予想 (2025年11月12日)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	4,045	625	4,080	640	△35	△15
イソプレン	804	△49	810	△55	△6	6
機能材料	2,069	108	2,070	105	△1	3
繊維	607	26	620	20	△13	6
トレーディング	688	60	670	60	18	0
その他	408	18	420	10	△12	8
調整額	△537	△201	△570	△180	33	△21
合計	8,084	589	8,100	600	△15	△11

営業利益影響額の概算イメージ

(億円)
+：利益、△：損失

	2025年度上期				2025年度下期				2025年度
	定修費用	操業休止 関連	在庫評価 差額	計	定修費用	操業休止 関連	在庫評価 差額	計	計
ビニルアセテート	△20	△20	△30	△70	△5	20	30	45	△25
イソブレン	△20	0	5	△15	0	0	△10	△10	△25
機能材料	△5	△20	0	△25	0	0	5	5	△20
繊維	0	0	△5	△5	0	0	5	5	0
計	△45	△40	△30	△115	△5	20	30	45	△70

営業利益影響額の概算イメージ

(億円)
+：利益、△：損失

	2026年度上期（予想）				2026年度下期（予想）				2026年度（予想）
	定修費用	操業休止 関連	在庫評価 差額	計	定修費用	操業休止 関連	在庫評価 差額	計	計
ビニルアセテート	△40	0	△50	△90	△15	0	10	△5	△95
イソブレン	△20	0	5	△15	0	0	△5	△5	△20
機能材料	0	0	△15	△15	0	0	5	5	△10
繊維	0	0	△5	△5	△5	0	10	5	0
計	△60	0	△65	△125	△20	0	20	0	△125



-
- 金額表示は億円未満四捨五入にしております。
 - 本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。
 - 本資料での〈〉表記は、クラレグループの商標または登録商標です。